

平成 30 年度第 2 回八雲町地域自立支援協議会会議録（要旨）

日 時：平成 31 年 2 月 25 日 午後 1 時 30 分～午後 2 時 35 分

場 所：シルバープラザ第 1・2 会議室

出席者：八雲町民生委員協議会 会長 能代 常男

八雲町身体障害者福祉協会 会長 佐橋 忠男

八雲町町内会等連絡協議会 副会長 大野 尚司

八雲町手をつなぐ育成会 会長 千葉 隆

函館公共職業安定所八雲出張所 所長 田原 健治

北海道八雲養護学校 総合支援部長 塩本 岳彦

国立病院機構八雲病院 理学療法室長 三浦 利彦

社会福祉法人きずな会 管理者 須田 貴之

NPO 法人やくも元気村 サービス管理責任者 大内 千秋

NPO 法人エンジョイライフ 事業運営課長 林 貴之

株式会社北海道親育ち研究所 管理者 羽二生 希

八雲総合病院 医事課医療連携係 係長 吉田 尚教

八雲町子ども発達支援センター 係長 松本 忍

事務局 保健福祉課 課長 戸田 淳

〃 学校教育課 課長 石坂 浩太郎

〃 住民サービス課 課長 北川 正敏

〃 住民サービス課 課長補佐 竹内 伸一

〃 保健福祉課 課長補佐 佐藤 哲也

〃 保健福祉課障がい者福祉係 主任 梅坪 光

〃 保健福祉課障がい者福祉係 主任 岸田 春樹

傍聴者：なし

会議の内容（要旨）

1 開会 （保健福祉課長）

2 あいさつ （能代委員長よりあいさつ）

3 委員の変更について（変更のあった委員、オブザーバーの自己紹介）

4 報告事項

（1）平成 30 年度理解促進研修・啓発事業の取り組みについて

【委員長】事務局からの報告を求める。

【事務局】（資料に沿って説明）

【委員長】 質問、ご意見あればご発言いただきたい。

【委員】 ヘルプマーク等は町に十分に配布できる数はあるか。

【事務局】 申請して頂くことにより、配布できる様準備している。

【委員長】 ほかに意見等ないか。

（発言なし）

（２）協議会委員からの報告について

①NPO 法人やくも元気村

【委員長】 NPO 法人やくも元気村からの報告を求める。

【委員】（資料に沿って説明）

【委員長】 質問、ご意見あればご発言いただきたい。

（意見等なし）

②㈱北海道親育ち研究所

【委員長】 ㈱北海道親育ち研究所からの報告を求める。

【委員】 平成 31 年 1 月に開設した mana ふじみ（児童発達支援・放課後等デイサービス）の紹介を行う。

【委員長】 質問、ご意見あればご発言いただきたい。

（意見等なし）

③八雲町子ども発達支援センター

【委員長】 八雲町子ども発達支援センターからの報告を求める。

【委員】 平成 30 年度の研修会・講演会の報告あり。一つ目として、平成 30 年 7 月 18 日にシルバープラザにて、講師に渡島圏域障がい者総合相談支援センターめい 地域づくりコーディネーター道下氏と、北渡島檜山圏域・南檜山圏域 指定相談支援事業所ひかり 地域づくりコーディネーター今西氏を招き、「生活・就労・障害年金研修会」を開催。道下氏からは「働く、暮らす、余暇を支える制度、サービス、相談支援について」説明をして頂き、今西氏からは「卒業後の進路について（事例の紹介）」のお話があった。保護者 16 名・関係者 34 名・計 50 名の参加があり、その中でも学校教諭や支援者の参加が多く、今回の内容について関心があることが分かったことや、保護者からは「知らないことが分かってよかった。」「心配が薄れた。」「これからの道筋を知ることができた。」などの声が聞かれていた。二つ目として、平成 31 年 2 月 1 日にシルバープラザにて、町民、近隣町村の方、保護者、保育園幼稚園、小中高等学校、学童保育所、発達支援に係る方を対象に、お子さんとその家族に対する理解を深めるための講演会を実施。保護者に対す

る支援に役立てることを目的とし、講師に保護者でもあり、支援者でもある渡島圏域障がい者総合相談支援センターめい 地域づくりコーディネーター道下氏を招き、経験談をはじめ、親の立場から正直な思いをお話して頂いた。73名の参加があり、アンケートでは、支援者側からは「保護者の気持ちを何も分かっていなかった。」「今までの自分を見直し、改めることができた貴重な時間であった。」など、保護者側からは「これまでの時間を振り返る良い機会となった。」などの感想があった。

【委員長】 質問、ご意見あればご発言いただきたい。

(意見等なし)

5 議題

(1) 第3次八雲町障害者計画の進捗状況について

【委員長】 事務局からの説明を求める。

【事務局】 (資料に沿って説明)

【委員長】 質問、ご意見あればご発言いただきたい。

【委員】 (P.14) 避難体制等の確立について、周知啓発・防災訓練計画は具体的に実施していないとのことだが、今後の施策の取り組みについてどのような考えがあるか。

【事務局】 障害者独自だけではなく、主管している総務などとも見直しを検討しているところがあるが、直近の課題として検討していきたい。

【委員長】 ほかに意見等ないか。

(発言なし)

(2) 障がい者レクリエーション活動等支援事業について

【委員長】 事務局からの説明を求める。

【事務局】 (資料に沿って説明)

【委員長】 質問、ご意見あればご発言いただきたい。

【委員】 身体障害者福祉協会でも渡島スポーツ大会を2年に1回行っているが、この事業は対象になるか。

【事務局】 事前にスポーツ大会の内容などを教えてもらい、対象になるか確認をさせていただきたい。

【委員長】 ほかに意見等ないか。

(発言なし)

(3) 障がい者日中一時支援事業について

【委員長】 事務局からの説明を求める。

【事務局】 (資料に沿って説明)

【委員長】 質問、ご意見あればご発言いただきたい。

【委員】 事業の受け皿はあるのか。

【事務局】 障がい児については、mana ふじみと mana うちうらがある。障がい者については、町内には無いが、短期入所を行っている函館等の入所施設を利用する形になる。

【委員】 障がい者が函館等の施設で日中一時支援を利用する場合、送迎時間を考えると利用時間がなくなってしまうなどのことがあるため、サービスの利用がしにくい。また、日中一時支援より短期入所の方が報酬が高い現状もあることなどから、今ある町内の高齢者の短期入所施設で対応できる様にならないか。

【事務局】 日中一時支援事業での障がい者の利用については、当初としては函館等に出かけた際に利用してもらうことを想定していた。町内の高齢者の短期入所施設での利用についても今後検討していきたい。

【委員（代理）】 最近、医療と介護の連携が言われているが、短期入所の枠を病院としても作ることができないか、提案してもらえたらと思う。

【事務局】 日中一時支援事業では、家族の就労支援や一時的休息を目的としていたため、病院を利用するということは想定していなかったが、救急時の受け入れなどの件も含め病院とも相談して検討したい。

【委員長】 ほかに意見等ないか。

（発言なし）

6 その他

【委員長】 委員から何かあるか。

（発言なし）

7 閉会

【委員長】 以上で、平成 30 年度第 2 回八雲町地域自立支援協議会を終了する。